

マルキンだより



畜産PR大使「おーいたん」

公益社団法人 大分県畜産協会

TEL:097-545-6594

FAX:097-554-4049

第130号

令和3年11月分交付金概算払単価公表

肉用牛肥育経営安定交付金制度の令和3年11月分の交付金概算払単価が公表されましたので、概算払いを行います。

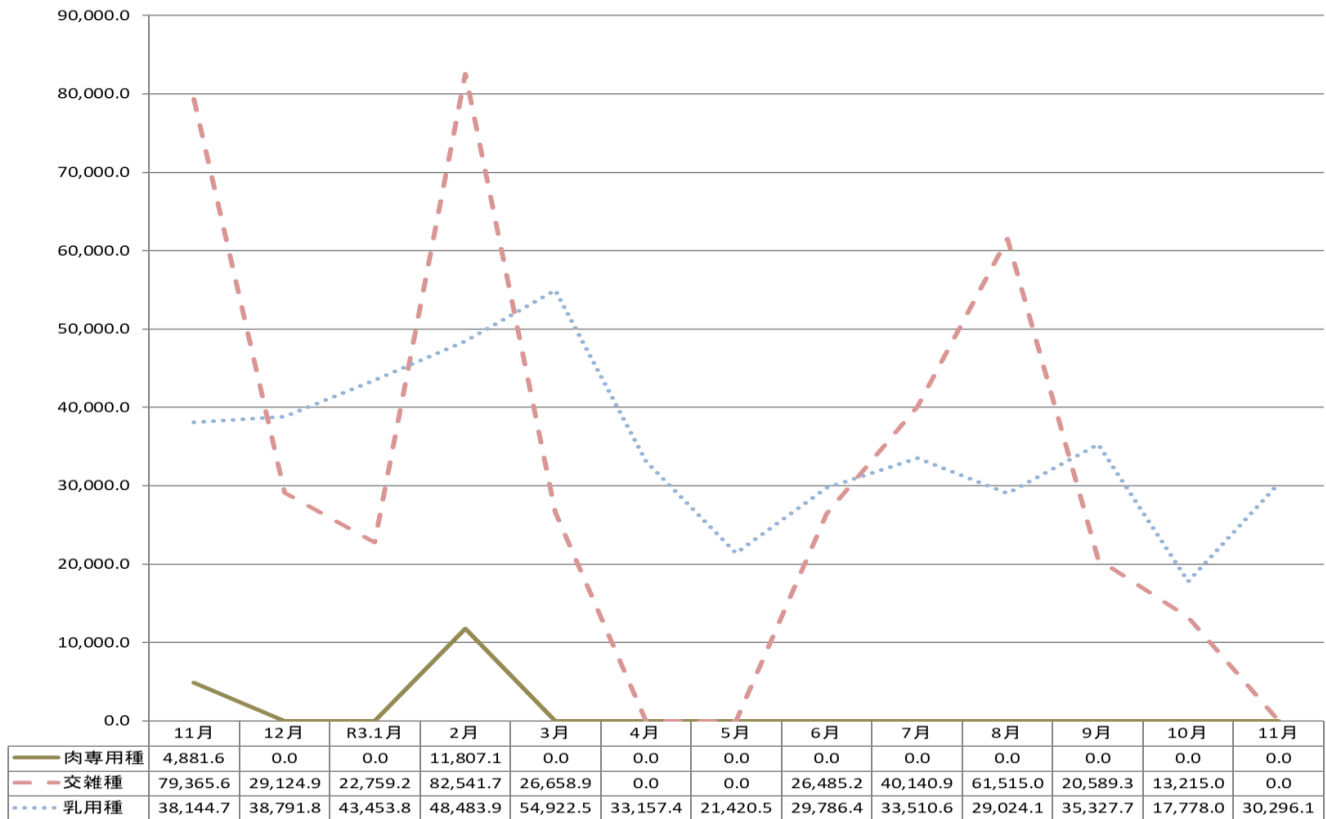
また、11月分の公表された交付金単価は乳用種については、30,296.1円の交付となります。肉専用種、交雑種の発動はありませんでした。

詳細につきましては、肉用牛肥育経営安定交付金制度の交付金単価について【令和3年11月分】(独立行政法人農畜産業振興機構発行)をご覧ください。

- トピックス**
- 令和3年11月分の単価(概算払)が公表されました。
 - 11月分の交付金交付は、1月27日(木)を予定しております。

交付金発動状況

単位:円



牛マルキン事業に関するホームページ

★公益社団法人 大分県畜産協会 <http://oaita.lin.gr.jp/>

当協会のホームページです。マルキン情報の他、市場結果、種雄牛情報等も掲載しております。

★独立行政法人 農畜産業振興機構 https://www.alic.go.jp/operation/livestock/assistance-marukin_00002.html

補填金単価の公表の他、単価算定に関する各種参考資料等が掲載されております。

★畜産物の市況展望【牛肉】

～GOTOに期待、食需要は低調で牛は小幅安～

12月の牛枝肉価格は、年末に向けて11月後半から手当てが動き始めジリ高基調に転じ、1週目は和牛去勢5等級が2,800円台、同4等級は2,500円台でスタート。2週目まではしっかりとした相場展開となった。その後は内食需要の重たさもあってそのまま頭打ちの展開に落ち着いた。制限解除で外食が動き始めているが、高級部位を支えているのは輸出向けのようだ。

11月の牛枝肉価格は、和牛は去勢A5が前月比22円高の2,740円（前年同月比27円安）、同A4は138円高の2,477円（同41円安）、同A3は106円高の2,249円（同73円安）、A2は101円高の1,917円（同78円安）と続伸したが昨年ほどの勢いはない。ことしは温暖で鍋物商材の出足が弱く、輸入牛肉の相場高等で販促も打ちづらく量販店の販売は厳しかった。

交雑牛もB4が24円安の1,685円（同30円安）、B3が10円高の1,474円（同133円安）、同B2は26円高の1,292円（同179円安）と伸び悩んだ。

制限解除でホテル、レストランに客足が戻り、紅葉シーズンとあって観光地にも多くの人で賑わいをみせた。地方のホテル、ブライダル需要が動き始めたことから、ホルスを中心にロインの評価が上方修正された。社用が多いホテルなども従来の師走らしい予約状況に回復した。半面、量販店の12月商戦は厳しいスタートで、生活必需品の値上げが相次ぎ牛肉などの高単価商材にまで手が伸びなくなった。また、和牛はふるさと納税の返礼品で調達する消費者が少なくない。年末年始は帰省客が見込まれ、地方向けの引き合いも動いた。ただ、全般にロイン系の引き合いは輸出向けが強く、12月の上げは春節を控え海外からの需要であることも指摘され、1月以降の動向が気になる。年明けは横バイか小幅安の展開と予測する声が多数。GOTOがスタートすれば外食、観光需要が再び盛り上がり、大きな下げはないか。

感染状況次第で予想は変わるが、和牛去A5で2,750円、A4で2,400～2,450円、A3で2,100～2,200円。交雑種はB4等級が1,750～1,800円、去勢B3で1,600円。

（※公益社団法人中央畜産会 発行 畜産コンサルタント誌1月号 抜粋）